

第1号議案

平成30年度事業報告について

平成30年度 事業報告

[概 要]

当群馬県協会は、平成24年4月1日(日)前橋地方法務局にて、公益社団法人移行認可され、平成29年8月1日(火)には、「守る組織名」から「新たに創り生む」攻めの協会名の群馬県環境資源創生協会と改名致しました。改名を期に、新たなる意識改革、発想転換、健全活性化を図ることとして行政機関をはじめ、関係機関、関係団体のご指導ご支援を仰ぎ、廃棄物処理業界の健全な発展は、我が国の生活環境の保全と産業振興の維持発展、経済成長に資することを確信し、処理業界、処理業組織の一員としての自覚・責務を担い自然と人との共生を理念に掲げ、公益社団法人の組織運営・事業運営の健全化にかかわる重要主旨である群馬県協会「本部事業決算統一化」の各支援事業の策定事項を遵守致し、本部組織と各支部組織との綿密な連携強化と組織機構の改革を図っての事業計画策定を基に行政機関のご指導と産業界・学界のご支援を仰ぎ、積極的展開を図った。



第7回定時総会



(県共催) 4ブロック研修会



ぐんま環境フェスティバル



(県共催) 不適正処理防止啓発県民の集い

平成30年度事業報告

[主 事 業 概 要]

1. (各支部)平成30年度第1回研修会

各支部組織による研修会は総会に先駆け研修会を開催。
講師派遣は、行政機関・協会長による廃棄物処理法関連をテーマに基調講演多くの支部会員は最近の処理法に関する学習を学び、意義ある研修会開催を収めた。



館林支部研修会



富岡支部研修会



高崎支部研修会



太田支部研修会



伊勢崎支部研修会



吾妻支部研修会

2. (各支部)平成30年度定時総会開催

各支部平成30年度定時総会の議事は、「本部事業決算統一化」遵守しての

- ①平成29年度 事業報告・事業収支報告
- ②平成30年度 事業計画(案)・事業収支(案)
- ③その他事業報告

平成30年度各支部定時総会の上程議案は慎重審議され意義ある定時総会開催を収めた。



安中支部総会



桐生支部総会



前橋支部総会



藤岡支部総会



渋川支部総会



沼田支部総会

3. ぐんま環境フェスティバル実行委員会(主催)

(県共催)平成30年度環境イベント開催運営功労者 及び、
公益社団法人群馬県環境資源創生協会協会長(組織運営功労者・
適正処理推進員功労者) 表彰式 執行 [Pm1:00 開会]

[概要]

産・官・学連携によるぐんま環境フェスティバル開催運営は、産・官・学の60団体組織により構成され、例年、環境フェスティバル開催は、群馬県環境森林部環境政策課と廃棄物・リサイクル課の二課によるご指導ご支援を仰いでいる。

開催運営は協賛活動により捻出して、特に開催会場はヤマダ電機様の特段な御厚意により設営。(公社)群馬県環境資源創生協会のボランティア活動により開催事務局を担って開催運営にあたっている。

(標記)環境啓発イベント開催運営に尽力、貢献される功労者に対して、群馬県知事より環境功労顕彰表彰者に表彰状と記念品が贈呈される。

尚、当日開催リーフレットに開催運営に寄与された企業に対し、社会に貢献する企業欄にご芳名を記入しての協賛活動を展開している。

引続き、当群馬県協会の組織運営に尽力された功労者、及び、日頃産業廃棄物の適正処理を展開している適正処理推進員の方々への協会長表彰を挙行了した。

4. (本部)平成30年度定時総会 [Pm2:00 開会]

開催にあたり開催セレモニーは女性部会・適正処理推進員よる、ご来賓によるピンクの薔薇を掲示板「環境県ぐんまの創造」に華文字を掲げ(協会旗)(啓発のぼり旗)掲揚し協会衣・腕章を着衣しての(群馬県歌)の演奏に合わせ、総会満席の会場に披露、多くのご来賓・協会企業代表者・協会長表彰(組織運営功労)者により賞讃の大きな拍手にて開会セレモニーは成功裡を収めた。

[定 時 総 会 次 第]

※(司会)富岡 直博 理事 (アシスタント)塩原 厚子氏による進行

※開催成立有効定足数の確認。全員出席者数、委任状数により開催成立す。

1. 開 会 の 辞

2. 協 会 長 挨 拶

3. 来 賓 祝 辞

(群馬県知事・群馬県議会議長・群馬県警本部・前橋市長・県商工会議所連合会)

4. 来 賓 紹 介

5. 議 長 選 出

6. 議事録署名人の選任

7. 議 事

第1号議案 平成29年度事業報告

第2号議案 平成29年度収支決算並びに監査報告について

第3号議案 平成30年度事業計画(案)承認について

第4号議案 平成30年度収支予算(案)承認について

第5号議案 その他

8. 閉会の辞

平成30年度定時総会は多くのご来賓のご臨席と協会員企業代表者、協会長表彰(組織運営功労)者の出席にて、議場は全ての上程議案が承認可決され大成功裡を収めた。



5. (本部)平成30年度第1回研修会開催 [Pm4:00 開会]

[概要]

定時総会に先駆け平成30年度第1回研修会は、環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課 成田 浩司 課長を講師に招き、「産業廃棄物行政の現状と今後の展望について」をテーマとした講演であった。

研修会場は(公社)群馬県協会企業代表・平成30年度組織運営功労者(協会長)表彰者・産業界機関・行政機関関係機関者の多くの受講者で受講会場は満席にて会場外の受講関係者は、成田 浩司 課長による大変素晴らしい基調講演は大成功裡を収めた。

報道機関は群馬テレビにてニュース放映、上毛新聞、群馬建設新聞 他 取材掲載される。

(環境省)廃棄物規制課長 成田 浩司 氏による平成28年度廃棄物処理法の改正・見直しの論点は、産業廃棄物を単に適正処理する業界から産業廃棄物を環境と資源循環製造推進する処理業界へと急変革期を迎えての対応で、施策は健全・充実・活性化と優良事業者への人材育成確保に関する優良認定制度の普及促進に関わる実務者研修による育成確保と処理管理システムの形成等、処理業界は新たな発想転換の重要課題が山積している状況下である。



6. 群馬県協会組織設立 30 周年記念式典開催 [Pm5:30 開会]

定時総会に引続き、関係機関、産・官・学機関、上部団体である連合会幹部の参加による群馬県協会設立 30 周年式典を開催。

[開 催 次 第]

(進行係)富岡 直博 理事 (アシスタント)柳澤 あゆみ氏

1. 開 会 の 辞
2. 協 会 長 挨 拶
3. 来 賓 祝 辞
4. 来 賓 紹 介
5. 乾 杯
6. 交 流
7. 中 止
8. 閉 会 の 辞



各機関出席者は必ず環境をテーマに一言挨拶して、交流会は今後の展望に大いに役立つ意義ある環境社会を考える交流会の参画を期待。

7. 組織の拡大・拡充促進について

公益法人移行し7年を迎え、当組織のテーマである「信頼・協調・自立」を念頭に、更なる組織・業界の充実・健全化を目指し「本部事業決算統一化遵守」による組織運営は基より、優良事業者推進に関する会員加盟勧誘活動の積極的展開を図った。

8. 労働安全衛生体制の整備確立の推進について

上部団体の(公社)全国産業資源循環連合会と連携し、衛生・安全研修会を実施。

- 1) 開催日時：平成31年3月19日(火) 13:30~15:30
- 2) 会 場：前橋問屋センター会館 2F “華龍の間”
- 3) 研修内容：講師：群馬労働局 労働基準部 健康安全課 鈴木 淳 氏
「労働災害と働き方改革について」
講師：(公社)全国産業資源循環連合会 長谷川 滋 先生
「本的安全衛生活動について」

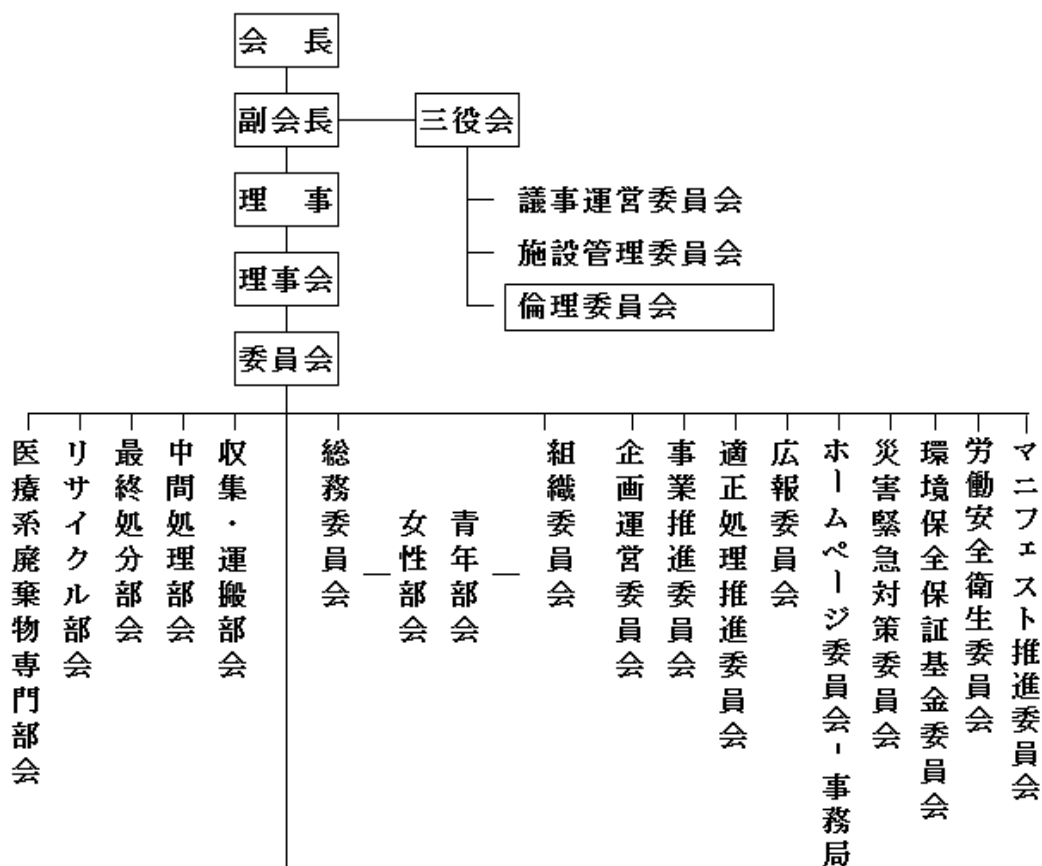
労働安全衛生への取り組みと実践の重要性を再認識するべく積極展開を図った。

9. 公益法人組織の事業に関する積極的展開について

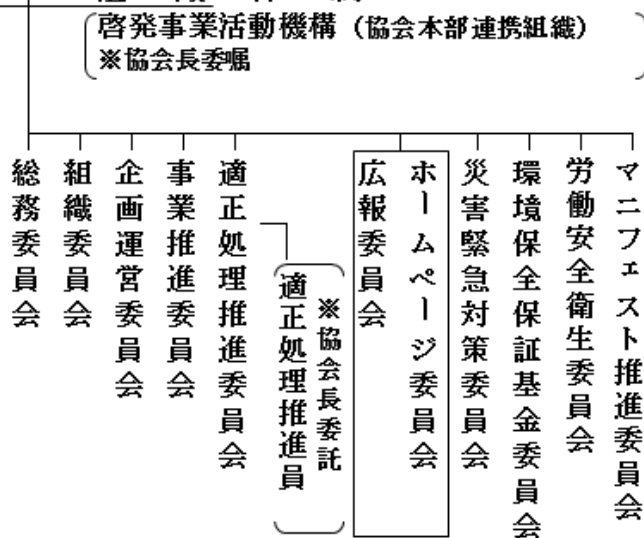
本協会では協会の事業運営を円滑に遂行を図ることとし組織体制に各委員会を設置、各委員は協会長が委嘱する。
委員会は各主務内容の推進のため、委員会規則に各委員名並びに主務内容を分担し業務の遂行を図った。

組織体制機構編成図

【本部】 組織体制



【支部】 組織体制



公益社団法人群馬県環境資源創生協会

組 織 機 構

委 員 会 規 則

〔前 文〕

本協会では、協会の事業の運営を円滑に遂行を図ることとし、次の組織体制に各委員会を設ける。

※委員は協会長が委嘱する。

委員会は、各々主務内容の推進のため、本委員会規則に各委員会名並びに主務内容を分担し業務の遂行を図る。

委員会名	主務内容
環境保全保証基金委員会	・環境保全保証基金の運営管理並びに県行政との共催基金事業の実施 ・事前調査・事業実施管理運営
施設管理委員会	・環境教育施設並びに処理施設確保に係る優良モデル事業化の促進対策及び実施に係る関係機関・関係団体との連携による事業推進
倫理委員会	・組織の健全化推進に関する会員の資質研鑽、モラル向上に係わる審議指導
議事運営委員会	・上程議案の検討審議資料作成並びに議事円滑化運営
総務委員会	・組織規程・財務計画の立案、事務管理 ・後継者の指導等育成並びに連携事業の促進等
組織委員会	・組織の拡大拡充、入会者加盟促進啓発 ・入退会者並びに変更に関する調査審議 ・組織の健全化に係る会員資質向上及び組織の統一運営
企画運営委員会	・講習会・研修会・啓発イベント等、協会の事業計画の立案作成及び事業企画運営
事業推進委員会	・事業計画に基づく普及啓発イベント等事業運営推進 ・関係機関、関係団体と連携促進
適正処理推進委員会	・適正処理の推進に係る処理システムの確立を図る ・組織に廃棄物適正処理推進委員12支部6名(計72名)を協会長が委嘱 ・行政機関、関係機関と連携し不適正処理・不法投棄防止の巡視・啓発推進
広報委員会	・組織運営に係る情報収集提供・機関誌の発行 ・普及啓発活動・関連事業実施時等の報道機関との連携促進
ホームページ委員会	・協会の情報公開のためのホームページ運営並びに業務効率化、情報基盤の強化を目指した組織会員相互の情報網の構築、整備を図る
災害緊急対策委員会	・国、県並びに市町村と連携し、地域社会に密着し災害時における災害廃棄物の緊急処理保管施設の確保、設置 ・災害廃棄物の適正処理の円滑化、的確な環境衛生施策の実施を目指して災害廃棄物処理支援体制の構築・整備を図る
安全衛生委員会	(※(公社)全国産業資源循環連合会安全衛生委員会と連携事業) 労働衛生、安全管理体制の整備確立による労働における衛生、安全環境整備並びに第三者機関に対する環境整備対策を策定し、労働環境の整備・円滑化体制に万全を期し、労働事故・災害防止の徹底を図ることとする。 ・廃棄物処理時の衛生安全管理体制企画要領の徹底 ・廃棄物の不適切物の再確認要領の徹底 ・衛生安全・事故・災害対策要領の徹底 ・作業用機械の日常の点検整備マニュアル徹底 ・衛生安全着衣の徹底 ・火気、爆発物の再点検の徹底 ・一人作業の防止及び点呼の徹底 ・その他
マニフェスト推進委員会	マニフェストシステムの適正処理推進事業 (公社)全国産業資源循環連合会と連携マニフェスト頒布事業の推進及び利便性向上とマニフェスト番号管理システムの運用啓発業務 ・廃棄物発生時の処理伝票の頒布及び運営管理 ・マニフェストの運用促進啓発 ・電子マニフェスト加盟・運用の啓発促進

10. (県共催)産・官・学 連携 平成30年度4ブロック研修会開催(報告)

(公社)群馬県協会は公益法人移行7年目を迎えた。当組織の主要事業である(県共催)産・官・学 連携 平成30年度研修会は、

- 1) 西毛ブロック(高崎会場) 高崎・藤岡・富岡・安中支部(担当連携)
- 2) 中毛ブロック(前橋会場) 前橋・伊勢崎支部(担当連携)
- 3) 東毛ブロック(太田会場) 太田・桐生・館林支部(担当連携)
- 4) 北毛ブロック(吉岡会場) 渋川・吾妻・沼田支部(担当連携)

各会場は標記ブロック各支部連携担当により開催。

行政機関と学界機関の格段なご指導ご支援を仰ぎ、各機関より優秀な講師派遣による研修概要は全て素晴らしい充実した講義にて、「組織で学ぶ教育と実践」学習は、廃棄物処理法を遵守しての資質研鑽・向上に資する人材育成確保と組織の連携強化に向けての研修事業は、当群馬県協会組織会員のみならず、行政機関・産業界・他機関に研修受講拡大勧誘活動を図り、受講者に行政機関と協会代表の連記による修了証を交付しての「組織で学ぶ教育と実践」(県共催)4ブロック研修会は年々研修会開催の意義ある経緯により各研修会は大成功裡を収めた。

平成30年度 産・官・学連携 (県共催)4ブロック研修会開催日程等一覧表

開催日時 # 担当	会場	開始時刻 (※予定)	講師	研修タイトル
2/14(木) Pm1:00 受付 [担当] 西部環境森林 事務所 高崎・藤岡・富岡 安中各支部	[高崎会場] 高崎市総合福祉 センター (たまごホール) 高崎市末広町115-1 Tel.027-370-8822	Pm 1:30	<行政> 群馬県廃棄物・リサイクル課 主事 生方 俊行 氏	「産業廃棄物行政の 現状と今後について」
			<県警> 群馬県警察本部 生活安全部 生活環境課 課長補佐 猿谷 啓 氏	「廃棄物事犯の現状」
2/20(水) Pm1:00 受付 [担当] 中部環境事務所 前橋・伊勢崎 各支部	[前橋会場] 前橋問屋センター会館 (華龍の間) 前橋市問屋町2-2 Tel.027-251-1175	Pm 1:30	<行政> 群馬県廃棄物・リサイクル課 副主幹 細野 泰志 氏	「産業廃棄物行政の 現状と今後について」
			<県警> 群馬県警察本部 生活安全部 生活環境課長 課長 青山 正幸 氏	「廃棄物事犯の現状」
		Pm 2:30	<学界> 群馬大学大学院理工学府 准教授 野田 玲治 先生	「ごみ(廃棄物・未利用資源)のエネルギー 利用における課題と解決のための処方箋」
2/25(月) Pm1:00 受付 [担当] 東部環境事務所 太田・桐生・館林 各支部	[太田会場] 太田市社会教育 総合センター (レクレーション室) 太田市熊野町23-19 Tel.0276-22-3442	Pm 1:30	<行政> 群馬県廃棄物・リサイクル課 副主幹 栗原 大輔 氏	「産業廃棄物行政の 現状と今後について」
			<県警> 群馬県警察本部 生活安全部 生活環境課 生活環境捜査指導官 深沢 正則 氏	「廃棄物事犯の現状」
		Pm 2:30	<学界> 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子ビーム研究部門 高崎量子応用研究所 放射線高度利用施設部 上席研究員 広田 耕一 先生	「放射線を利用した環境保全技術」
2/26(火) Pm1:00 受付 [担当] 利根沼田・吾妻 環境森林事務所 渋川・沼田・吾妻 各支部	[吉岡会場] 吉岡文化センター (研修室) 北群馬郡 吉岡町下野田472 Tel.0279-54-1161	Pm 1:30	<行政> 群馬県廃棄物・リサイクル課 主事 嶋田 涼 氏	「産業廃棄物行政の 現状と今後について」
			<県警> 群馬県警察本部 生活安全部 生活環境課 課長補佐 海上 直也 氏	「廃棄物事犯の現状」
		Pm 2:30	<学界> 前橋工科大学 工学部 教授 森田 哲夫 先生	「環境にやさしいまちづくり」

(県共催)平成30年度4ブロック研修会開催状況



高崎会場



前橋会場



太田会場



吉岡会場

1.1. (県共催)適正処理推進事業

不適正処理防止巡視活動の積極的展開について

(公社)群馬県協会は地域社会に密着しての事業活動は、自然環境の保全・生活環境の保全に寄与を念頭に、県下に不法投棄防止立看板を制作設置(各支部30ヶ所=12支部にて360ヶ所設置)、適正処理推進員(1支部6名=12支部72名)を協会長が委嘱しての組織の先頭に立ち、適正処理推進を掲げ「許すな不法投棄監視区域」県行政・県警察本部・市町村・協会連記の立看板の異常確認(広報設置確認済)を兼ねて、立看板設置周辺の除草整備 他不法投棄防止確認は、立看板設置間の巡視パトロール(月1回)の実施のほか処理施設・各企業の資材置場・向上周辺の巡視啓発パトロールを、各支部組織による適正処理推進事業に関する啓発巡視活動の積極的展開を実施。尚、巡視パトロールの実施報告書を作成、毎月支部長に提出、支部長より本部協会長に報告書を提出が実施報告に定められている。

1 2. (県共催)全国環境美化(春・秋)活動の積極的参画について

県共催事業として県行政機関の主導にて県下各地域において、全国環境美化活動が開催され、環境保全社会の形成推進を目指し各支部組織によるボランティア活動の参画は、県行政機関との連携事業として県下各地域の環境美化活動に関する積極的展開を図っている。

本年は昨年に引続き主要実施場所は、榛名湖周辺の環境美化活動を実施。尚、協会各支部組織による自然環境・生活環境の保全に関わる山間部の立看板設置ヶ所の巡視活動及び市街地にて適正処理啓発活動を実施。

1 3. 適正処理推進事業 紙マニフェスト・電子マニフェストの頒布啓発活動の積極的推進について

適正処理推進事業は(公社)全国産業資源循環連合会と(公社)群馬県協会との連携マニフェスト頒布事業の推進、及び発生廃棄物の管理に関する利便性向上の推進

- 1) 紙マニフェスト・電子マニフェストの普及啓発に関して廃棄物発生の管理システムに不可欠な廃棄物処理伝票による発生品目の細目管理・統計によるリサイクル化・再資源化・減量化を図り、環境と資源の保全に寄与・循環型社会の形成構築を目指す。
- 2) 廃棄物の発生から処理までの管理システムの確立。
- 3) (公財)日本産業廃棄物処理振興センターと(公社)全国産業資源循環連合会との協議による(環境省)電子マニフェスト 35%より平成 27 年度 50% 目標数値に向けての研修科目の実務研修会を平成 27 年度より開催実施。

電子マニフェストの普及率を 35%から 50%目標数値(案)に関する紙マニフェストの頒布減少は避けられない予想は(公社)全国産業資源循環連合会の事業運営・各県協会の事業運営の危機感があり、環境省とマニフェスト推進委員会による電子マニフェスト 50%普及促進による紙マニフェストの頒布事業の減少に関する支援策として、平成 30 年度より優良事業化制度に関する(公社)産業資源循環連合会の主催「実務者研修会開催」を配慮するとの平成 28 年度廃棄物処理法の改正・見直しに向けての論点となっている。今後も(公社)全国産業廃棄物連合会は循環型社会の形成に関する廃棄物の管理システムに不可欠な電子マニフェスト頒布啓発推進に関する積極的展開を図ることとする。

電子マニフェスト操作体験セミナー状況



1 4. 産・官・学連携(県共催) ぐんま環境フェスティバル実行委員会 平成30年度ぐんま環境フェスティバル 並びに 適正処理推進環境啓発街頭キャンペーンの開催推進について

1. 開催日時 平成30年10月13日(土)
2. 開催場所 ヤマダ電機 LABI1(高崎) イベント会場にて
3. 1) 開会セレモニー Am 9:30 上武大学吹奏楽部演奏
2) 開 会 式 Am10:00

県行政・県議会・各行政・学界・産業界・県民
ぐんまちゃん・Gファイブ・上武大学吹奏楽部 参画

(主催)ぐんま環境フェスティバル実行委員会(60団体組織)は、郷土群馬県の自然環境・生活環境の保全を注視して、群馬県の美しい自然環境・豊かな環境の維持発展を目指し、例年開催される環境啓発イベント開催に向け実行委員会は、産・官・学連携事業として開催、事業運営に関する運営費の協賛・出展者の勧誘啓発・学界による基調講演など開催企画を策定、(県行政)産・官・学連携 適正処理推進啓発街頭キャンペーンの開催は、ヤマダ電機(株)の特段な会場運営にご高配を賜り(公社)群馬県協会の積極的ボランティア事業としての参画、行政機関のご指導ご支援による 産・官・学 連携による参加者により、環境イベント開催は全国に誇れる事業として大成功裡を収めている。



1 5. (公社)群馬県協会における環境保全保証基金の運用管理、並びに 県行政機関との環境保全保証基金(運用益)事業の推進について

当群馬県協会の平成元年法人化に伴う環境保全保証基金の創設(3年間にて3億円拠出事業)は、当協会名誉顧問 尊師 福田 赳夫 先生、福田 康夫 先生のご指導ご支援を仰ぎ、基金拠出金に関わる特別措置法損金算入による基金造成による群馬県行政と(公社)群馬県産業廃棄物協会との連携事業は、会員企業は基より産業界(排出事業者)との連携支援を仰ぎ、3年間に3億円の拠出達成に大蔵省の大臣官報公示の産業界初の金字塔の功績を築き上げた。

平成元年群馬県行政との連携による基金運用益事業として、下仁田町山間地域における原因者不明の不法投棄物の調査・不法投棄物の撤去事業を初事業として(県共催)不法投棄物緊急処理対策事業の名称にて蕨塚本町地域、太田市東金井地域の撤去事業、県下各地域の生態系に関わる硫酸ピッチ不法投棄物の調査・撤去事業は行政機関をはじめ市町村行政・関係自治会・県民より基金運用益による撤去処理事業は高く評価をされ、報道機関各紙が報道取材掲載され、当協会の環境保全保証基金事業の運用管理並びに県行政機関との環境保全保証(運用益)事業推進に県民より大いに期待されている。

16. (共催)公益社団法人日本産業廃棄物処理振興センター 産業廃棄物処理業許可取得講習会開催 (公社)群馬県環境資源創生協会の支援について

産業廃棄物処理業許可取得講習会開催会場は、全国にても限られての開催であり群馬県会場の開催は群馬県協会会員により旅費・宿泊費を考慮して大変有意義な開催であり、(公社)群馬県協会本部にての受講者拡大受付、受講会場にての会場設営、開催運営に関する積極支援を図った。

17. 優良事業者認定制度に関する推進事業の促進について

処理業界の健全・充実化促進事項

- 1) 優良事業者の資質研鑽に関する人材育成確保研修会・講習会 他 開催
- 2) 各企業のレベルアップによる組織業界の健全化推進
- 3) 関係行政機関との連携強化による研修・講習会の開催
- 4) 上部機関(公社)全国産業廃棄物連合会による優良化推進事業の促進
- 5) 電子マニフェストシステム加盟促進
- 6) エコアクション21認証取得に関する普及啓発活動の促進
- 7) 産業廃棄物の事業場外の保管事前届出制度の促進
- 8) 各企業の優良化認定制度に関する相談支援活動
- 9) その他

以上の各項目の優良事業者認定制度に関する推進活動の積極的展開を図った。

18. (共催)公益社団法人全国産業資源循環連合会 平成30年度産業廃棄物処理実務者研修会開催

(公社)全国産業資源循環連合会は公益法人組織の人材育成強化推進事業として産業廃棄物排出事業者と処理業者等の処理業界に不可欠な委託契約に関する行政機関より適正処理推進対応に係る、より一層の資質向上を図るため「組織で学ぶ教育と実践」を主旨として協会会員企業のみでなく関係機関・協会外企業(第三者機関)にも広く受講を呼びかけ、産業廃棄物の処理実務に携わる実務担当者を対象とする(公社)群馬県協会と共催による実務者研修会を開催する。

— 記 —

1. 開催日時 平成30年11月8日(木)
2. 開催場所 前橋問屋センター会館(華龍の間)
3. 受講料 7,200円(税込) テキスト代含む
4. 受講拡大勧誘活動の積極的展開

19. (県共催)産業廃棄物運搬車輻一斉路上調査

実施に関する積極参画について

関東圏行政機関連携(東京都庁事務局)による群馬県行政機関(廃棄物・リサイクル課)の産業廃棄物運搬車輻一斉路上調査実施事業に、(公社)群馬県協会の参画連絡指示に伴う実施場所の各協会支部(桐生・伊勢崎・太田支部)と本部事務局がボランティア参画、廃棄物運搬車輻に関する運搬許可証・運転免許・マニフェスト運用確認・積荷品目の確認 他 行政機関職員と県警察職員連携による産業廃棄物運搬車輻の一斉路上調査を実施。当日は雨天にも関わらず協会員は精力的に活動した。

(公社)群馬県協会会員は啓発のぼり旗を掲揚、各車輻運転手に啓発資料配布に努め群馬県行政機関との連携啓発推進にボランティア活動として参画した。

(公社)群馬県協会は路上一斉調査の初回より参画、関東圏行政機関の一斉路上調査への参画は(公社)群馬県協会のみであり誇れる実績を築き上げている。

— 記 —

実施日時 平成 30 年 10 月 12 日(金) Am9:30～正午
実施場所 太田市武蔵島地内 国道 17 号(上武国道 尾島パーキング)
協会参加者 17 名



20. 関係機関・関係団体との連携強化による環境保全啓発事業の推進

[概要]

(公社)群馬県協会は行政機関のご指導ご支援委より関係機関・関係団体と連携による行政機関をはじめ、関係機関・関係団体との連携強化による環境保全啓発事業の推進に努めた。

環境イベント(環境と森と木のまつり等)開催に参画



21. その他事業

1. 女性部会の事業支援について
2. 青年部会の事業支援について
3. 関係機関の事業支援について
4. 各研修会・講習会・環境啓発イベントの事業支援について